

現在の環境基本計画における主要課題について

## 環境の目標

### 1. 安心して暮らせるまち

さわやかな空気の下での暮らし

環境の目標：大気汚染物質及び目標値（環境基準）（二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、一酸化炭素、光化学オキシダント、ダイオキシン類）

#### ・大気汚染の防止

光化学オキシダントは未達成だが、毎年の変動や自然現象による影響も考えられる。  
道の大気汚染測定局の1局化により、監視体制の弱体化が懸念される。

#### ・悪臭の防止

農業地域に近接する地域や工業生産活動の展開による公害苦情の発生を防止する。  
清らかな水環境の下での暮らし

環境の目標：水質汚濁物質濃度（BOD）、生活排水処理施設及び目標値（環境基準等）、普及率

#### ・水質汚濁の防止

茨戸川が環境基準設定地点において、3地点中2地点で未達成。  
目標達成に向けて、浄化用水の導入及び流域対策。

静かな音環境の下での暮らし

環境目標：自動車騒音及び環境基準値（地域：幹線道路に面する地域、路線：道道手稲石狩線、道道花畔札幌線、道道樽川篠路線、市道花川南3丁目通）

#### ・騒音・振動の防止

市道花川南3丁目通が目標未達成（平成17年度調査）。  
メーカーによる自動車単体の低騒音構造化に加え、道路の低騒音舗装化や交通騒音の主要な発生源である大型車の通行対策。

安全で安心な環境の下での暮らし

環境目標の設定せず

#### ・化学物質対策

地下水のヒ素濃度が環境基準を超過。  
利用にあたっての注意喚起とモニタリングの実施。

#### ・その他の公害防止

ダイオキシン類等の有害化学物質対策  
市民生活と関わりの深い有害化学物質に関する情報の収集、発信。

### 2. 豊かな自然と共生するまち

環境の目標：海浜植物保護区域の拡大、森林面積の現状維持、河川整備にあたっての多自然型工法の採用、希少生物の生息地保全

自然とふれあいのある暮らし

#### ・自然環境保全・生物多様性の確保

石狩浜の植生やごみ放置や投棄を含む海岸環境の保全がなかなか進んでいない。

自然海岸の重要性の発信と保全施策を検討するとともに、利用者等に訴えていく。  
外来生物の生息・生育範囲が広がっている。  
帰化植物やアライグマの駆除を推進する。

心うるおう水辺のある暮らし

・身近な水辺環境の保全と創造

河畔等の身近な自然地域の活用の場の整備、創出を進める。

自然環境の利用にあたっては、保護と利用のバランスを確立する必要がある。

### 3. うるおいと安らぎのあるまち

環境の目標：都市公園整備及び市民参加による植樹本数

緑に囲まれた暮らし

・公園・緑地の整備

都市公園の整備と市民植樹を進める。

誇れる景観のある暮らし

・良好な景観の形成

歴史的、文化的建造物の保全を図る。

・ごみの散乱防止

監視強化により不法投棄防止を徹底する。

### 4. みんなが参加して取り組むまち

環境の目標：こどもエコクラブ

環境について考える暮らし

・環境教育・環境学習の推進

学校の授業における環境教育の推進や自然観察会、自然体験学習の場の提供、行事等への参加者数増を図る。

環境の保全と創造に取り組む暮らし

・市、市民、事業者による3者協働の取組推進。

環境保全活動の担い手や活動の場が少なく、市内外とのネットワークづくり、情報が氾濫する中、正しい環境情報が必要である。

### 5. 循環型社会をめざしたまち

環境の目標：家庭系、事業系廃棄物排出削減量及びリサイクル率

ごみを抑える暮らし

・ごみの減量

事業系廃棄物の減量化対策の手段として、環境マネジメントシステム等の取組による意識啓発。

リサイクルを取り入れる暮らし

・リサイクル推進

事業系廃棄物の再資源化推進とものを大切にする意識の普及啓発。

資源、エネルギーを大切にする暮らし

・資源・エネルギーの有効利用

地球資源は有限であるという意識の普及、自然エネルギーの活用推進。

6. 地球を大切にすまち

環境の目標：地球温暖化防止計画の策定及び二酸化炭素排出量削減目標

地球環境に配慮する暮らし

・地球環境保全

化石燃料の消費抑制と自然エネルギーの使用推進による二酸化炭素排出量削減目標の達成、及び環境情報の収集・発信による市民意識の向上。

二酸化炭素吸収源としての森林を持続的に育成、整備する。

**総合的施策**

身近なふれあいの川づくり

ふれあいの水環境計画

「茨戸川清流ルネッサンス」（茨戸川清流ルネッサンス 地域協議会、平成15年3月策定）

貴重なふるさとの自然の保護、回復

「自然の保護と利用に関する指針」（未策定）

環境教育・環境学習の推進

「環境教育・環境学習本方針」（未策定）

ごみの減量と資源循環型社会づくり

「ごみ減量化とリサイクル推進のための方針と計画（ごみ減量化計画）」（平成15年3月策定、20年4月改定）

温室効果ガスの排出削減など、地球環境保全の取組

「ISO14001」認証（平成14年6月取得、20年6月終了）

「温暖化防止計画（地球温暖化対策推進計画）」（平成17年2月策定、19年2月一部改定）